

森会長 辞任へ

女性蔑視発言で引責

後任 川淵三郎氏で調整

東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長(83)が辞意を固めた。11日、関係者が明らかにした。スポーツ団体の理事起用を巡る女性蔑視発言が国内外で反発や批判を受け、発言を撤回して謝罪したが、責任を取る形となった。12日の

組織委の評議員会、理事会の合同懇談会で表明する見通し。後任は日本サッカー協会元会長の川淵三郎氏(84)で調整している。新型コロナウイルスの影響で史上初の延期となった五輪は、開幕まで残り半年を切った時期にトップ不在となる異常事態となった。



森氏は3日の日本オリンピック委員会

(JOC)臨時評議員会で「女性がたくさ

ん入っている理事会は時間がかかる」な

どと述べた。4日に「五輪・パラの精神に

反する不適切な表現だった。深く反省し

ている」と謝罪したが、選手やスポンサー

からも厳しい声が相次ぎ、ボランティア

の辞退者が続出。当初不問に付した国際

オリンピック委員会(IOC)も9日に

「完全に不適切だ」と指摘する声明を発表

し、会員制交流サイト(SNS)上などで

辞任を求める声が高まっていた。

日本オリンピック委員会の女性理事増員方針を巡る
発言について記者会見する東京五輪・パラリンピッ
ク組織委員会の森喜朗会長。4日午後、東京都内